



大浦福寿堂
 襖や障子等の新調・張替えから古書画の修復、寺院の仏画の修復まで行う大浦福寿堂。その技能は、地域文化への貢献により兵庫県技能顕著巧賞を受賞したほどの一級品の腕前で、誇りと使命感を持って精進に務める職人の技能は日々進化しています。

県立上郡高等学校

農業科で作った野菜は上郡高校や駅前前の観光案内所で販売しています。



上郡橋西交差点
 上郡橋へ

橋を渡ると古い町並み！
 次ページへ！

原田呉服店

町の活性化のために、ゆずせんべいにモロヘイヤを合わせ、金をイメージした「大鳥圭介黄金せんべい」を呉服店が開発。「上郡を出る時は是非これを持ち帰って欲しい」という知る人ぞ知る隠れた地元商品



ホーくを出たら
 なんだか懐かしい
 匂いがした
駅前・栄町

下のエリアのマップです



だいたい100メートル

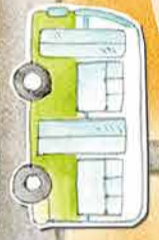
メリー・ウイドウ

上郡町随一のおしゃれなお店と言っても過言ではない洋菓子店。女性パティシエが作る種類豊富なケーキや焼き菓子の中には、上郡産のイチゴなどを用いた洋菓子もあり、2007年オープンながら早くも地域に欠かせない存在に。
 営業時間：10:00～19:00
 定休日：木曜日



大浦福寿堂

平田製麺所



平田製麺所

絶世の美女クレオパトラが美容のために好んで食べていたという、上郡町イチオシの特産品モロヘイヤ。平田製麺所ではモロヘイヤを麺に練りこんだ「モロどん」を作っており、のどごしが良い緑色のその麺は、町内の様々な飲食店で提供されています。上郡に来たからには「モロどん」を食べずには帰れない！

喫茶 ヨット

モロどんとナマステが見事にマッチングしているカレーつけ麺の「ナマステモロどん」が食べられる唯一のお店。究極のカレーを求めてインド・スリランカへ渡った沖さんが作る、21種類のスパイスを使った本格カレーは絶品。
 営業時間：7:30～21:00
 定休日：第1・3日曜日



＜ヨットの豚＞
 ご飯と散歩の時間以外は1日中寝ているという、喫茶ヨットの横に住む豚のヴィヴィ（10歳）は地域のアイドル。

鮮魚 竜中

店名のとおり新鮮な魚を数多く取り扱う竜中では、昼は刺身とモロどんが同時に味わえる定食が人気。夜は宴会会場としても賑わい、店内に並ぶ新鮮な魚をその場で調理してもらえるおつまみも魅力。
 営業時間：9:00～
 定休日：日曜日・祝祭日



栄町商店街

みなと銀行

メリー・ウイドウ

上郡駅前交差点

JA兵庫西 上郡支店

総本家 かん川

播州地方のお菓子として三百年の歴史を誇る「しほみ饅頭」を取り扱うお店。茶の湯と共に長い歴史に育まれた銘菓は歴史と伝統を感じさせる逸品。
 営業時間：7:00～19:00 無休



大黒屋

和菓子屋大黒屋では上郡を流れる千種川にちなんだ駄もなか「千種川の若駄」や、生菓子の「赤松の里」、「羅漢のかかし」など地域にちなんだ商品が豊富。
 営業時間：8:30～19:00
 定休日：水曜日



＜カミナリエ＞

12月頃に上郡駅前には広がる光のイルミネーション。地元では「カミナリエ」と呼ばれているとか。



上郡駅の昔と今

大鳥圭介を始めとした地元住民の要望により、明治28年4月4日に開業した上郡駅は、列車の運行管理において重要な役割を果たしてきました。
 かつて上郡発青森行きの列車が運転されたほか、上郡駅を始発・終着として姫路、大阪方面まで運転される列車が昭和20年代には既に運転されています。また、優等列車についても山陽新幹線が岡山まで開通するまで運転された急行「とも」が停車していました。
 現在はJR山陽本線と智頭急行線が接続する駅となり、京阪神・岡山と鳥取を結ぶ特急「スーパーはくと」「スーパーいなば」が停車する際は乗務員の交代が行われることがあります。朝夜時間帯には当駅を始発・終着として姫路・大阪方面まで(から)運転される新快速・普通列車が設定され、列車運行における拠点としての役割が変わることはありません。

岡山へ
 智頭急行線
 佐用・鳥取へ
智頭急行 上郡駅

JR山陽本線

JR 上郡駅

観光案内所



上郡町の特産品や観光情報が揃う観光案内所では、豊富な知識を持った上郡のスペシャリストであるスタッフがおもてなし。地域の方の憩いの場としても親しみやすい空間となっています。町内を移動するためのレンタサイクル(4台)も利用できます。
 営業時間：9:30～16:30/定休日：月曜日
 TEL 0791-52-6959

相生・神戸へ